

同窓会だより

信州大学医学部保健学科同窓会事務局
School of Health Sciences, Shinshu University
第7号 2009年10月



—目次—

保健学専攻博士後期課程の第一期生を迎えました!!	2
同窓会の皆様へ	3
新入教員のご挨拶	4
平成20年度活動報告	7
総会記録	8
平成20年度事業報告	9
平成20年度医学部保健学科同窓会決算書	10
平成21年度事業計画(案)	11
平成21年度医学部保健学科同窓会予算(案)	12
同窓会役員	13
信州大学医学部保健学科同窓会会則	13
同窓会のご紹介	15
編集後記	16

2009
第7号

保健学専攻博士後期課程の第一期生を迎えました!!

信州大学医学部保健学科同窓会会長 川上 由行
(信州大学医学部保健学科 検査技術科学専攻 病因病態検査学講座 教授)

2009年4月、保健学科、大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程、そして博士後期課程に入学された皆さん、本当におめでとうございます。皆さんが、希望を持って、本学で充実した学生生活を過ごされることを切に願います。

本学がスタートしてから、かねてからの念願だった、博士後期課程の大学院生の受け入れが、いよいよ開始されました。彼等には特に、博士後期課程の一期生としての誇りを持って研鑽の日々を送って欲しいと念じます。

さて、2009年3月21日は素晴らしい快晴でした。そして、北アルプスが殊の外に輝いて見えました。保健学科3期生、そして大学院医学系研究科保健学専攻修士課程1期生が巣立っていきました。

今回の卒業式から、医学部では「竹内松次郎賞」を設定しました。医学科同窓会「松医会」と「保健学科同窓会」の協賛による賞です。竹内松次郎先生は、松本医学専門学校長で、初代の松本医科大学長、そして初代の信州大学医学部長を歴任された、いわば本医学部の大功労者で、信州大学の発展および信州大学医学部の礎として大きく貢献された先生です。竹内先生は、細菌学がご専門で、医学部細菌学教室の初代教授でもありました。

その竹内先生の功績を顕彰して医学部卒業生のうち特に学業において研鑽を積み、他の学生の範となった、保健学科および医学科の学生を表彰することにより、表彰された学生の榮譽を讃えると同時に、在学生の勉学に対する意欲を高め、励みとすることが目的です。「竹内松次郎賞」の受賞については、医学科の1

名に加えて、看護学専攻/検査技術科学専攻/理学療法学専攻/作業療法学専攻の学生から各1名ずつに授与されました。このことは、信州大学のホームページにも受賞学生の氏



名とともに掲載されましたのでご覧になられた会員も多いと思います。本年入学された新入生の皆さん、そして在校生の皆さん、「竹内松次郎賞」受賞を目指して勉学に勤しんで下さい。

「信州大学医学部保健学科」に入学して良かった! 「信州大学大学院医学系研究科保健学専攻」での研究の日々は素晴らしかった! と在校生、卒業/修了学生諸氏に感じていただける教育環境の一層の充実を目指して、保健学科同総会はますます邁進していきます。母校との緊密な連携のもとに、信州大学医学部保健学科と信州大学大学院医学系研究科保健学専攻が、より一層の輝きを持って発展し続けるように、保健学科同総会は支援をして行きます。



同窓会の皆様へ

信州大学医学部保健学科同総会名誉会長 **市川 元基**
(信州大学医学部保健学科長／看護学専攻 小児・母性看護学講座 教授)

少子高齢化社会を迎え、全国の大学が生き残りをかけてしのぎを削っている中で、信州大学医学部保健学科では平成21年7月25日に学部のオープンキャンパスを行いました。幸い500人以上の高校生、受験生とその保護者の方々が集まってくださり、充実した説明を行うことができました。このオープンキャンパスも同窓会のご援助で行うことができ、教員一同感謝しております。そして、優秀な同窓会の新しいメンバーがまた来年本学に入学していただけると信じております。

平成21年3月に大学院医学系研究科保健学専攻修士課程の第1期生20名が課程を修了し、修士（看護学）あるいは修士（保健学）の学位を授与されました。平成21年2月9日に修士論文の公開研究発表会が中校舎211番教室で行われ、第1期生の学生さんたちが1年10か月の間に努力してまとめ上げた研究内容が披露されました。どの研究も修士の学位にふさわしいものでした。毎年2月に公開研究発表会は行われますので、是非同窓会の皆様もご参加いただきたいと思います。

また、平成21年4月には新たに設置された大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程に9名の第1期生が入学され、博士（保健学）の学位取得に向けて努力されています。この博士後期課程設置に伴い、修士課程が博士前期課程になり、保健学専攻は博士前期2年、博士後期3年の区分制博士課程で大学院教育を行うことになりました。引き続き同窓会の皆様にはご援助をお願いするとともに、是非大学院を新たな勉学の機会と捉えていただきたいと思います。

本年度は保健学科創設以来ずっと続けてまいりまし

たカーティン工科大学への大学間学術交流協定に基づく夏期海外単位認定プログラムを中止せざるを得ない状況になりました。新型インフルエンザのオーストラリアにおける流

行のため、このプログラムを行うために必要な参加学生さんの数が集まらなかったのがその理由です。是非参加したかったという学生さんの声も多く聞かれ、同窓会のご援助によるこのプログラムが信州大学医学部保健学科の大きな魅力の1つになっていることを改めて感じさせられました。可能であれば本年度はカーティン工科大学の教員を本学に招いて学生への講義、演習等を行うことを現在検討中です。これからも同窓会の皆様のお力をお借りして信州大学医学部保健学科そして医学系研究科保健学専攻をよりよいものに発展させていきたいと思っております。どうぞよろしく願い申し上げます。



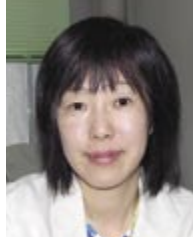
新入教員のご挨拶

自己紹介

奥野 ひろみ

(看護学専攻 広域看護講座)

地域看護（保健師教育）及び国際看護を担当します奥野です。東京都中央区保健師、JICAインドネシア母子保健プロジェクト派遣、静岡県立大学講師、准教授をへて、こちらに着任いたしました。



山好きの私としては、日本アルプスの玄関に居を構えることができ浮き浮きしています。週末に3,000メートル級の山に出かけたいところですが、体力の衰えがそれを許さず、低山ハイクを楽しんでいます。

現在、保健師教育では教育の質の保証が大きな課題となっています。教育改革の動向をにらみつつ、現場の質の向上とそれを支える基礎的研究を進めていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

自己紹介

高橋 宏子

(看護学専攻 広域看護学講座)

この4月から広域看護学講座に着任いたしました。担当は在宅看護学です。信大医療短大時代に助手として、主に外科系の臨床実習指導をさせていただいた経験があります（その時に生まれた息子はこの3月に高校を卒業しました）。その後子育てをしながら、第一内科学教室の研究生として呼吸について学び、以後市町村の保健師の補助や、介護福祉教育、看護教育を経験し、そして信州大学に戻ってまいりました。医療短大時代に関わらせていただいた方々は現在、病棟師長をはじめ、様々な場でリーダーの立場に成長されており、時の流れの速さを感じると共に、とても頼もしく、感激しております。



私の専門とする在宅看護学は、病院から在宅への移行期の支援や、在宅で病気や障害を持ちながらも地域の一住民として安心して生活していけるように、療養者はもちろん、ご家族も対象として支援していくことを目指します。看護職としてのそれぞれの専門性や、他の専門職

や機関と連携をとり、よりよいネットワークを構築していくことが大きな課題と感じています。同窓生の皆様のお力をお借りしながら、さらに専門性を深め、教育・研究の立場から社会に貢献できたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

自己紹介

森田 瞳

(看護学専攻 成人・老年看護学講座)

4月より成人・老年看護学講座（老年領域）に着任致しました森田瞳と申します。教員になり、早いもので4カ月が経とうとしています。教員生活にも少しずつ慣れてきて、どんな教員像を持って学生と接しているかと日々模索中です。



私の出身は長野県須坂市になります。看護学生時代は主に北陸で過ごしました。県外に出て、長野は人が温かく自然や温泉も豊富で、とても住みやすいところだなと改めて実感し長野が更に好きになりました。今年3月までは、信州大学医学部附属病院の病棟看護師として働いておりました。長野の良さや看護の素晴らしさを信州大学から発信していくことに少しでも貢献できたらいいなと思っています。教員としては新人ですが、皆さんと一緒に少しずつ成長していきたいと思っています。同窓会の皆様におかれましては、ご活躍の場で交流する機会もあるかと存じます。今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。

自己紹介

政時 和美

(看護学専攻 成人・老年看護学講座)

4月より医学部保健学科看護学専攻成人・老年看護学に配属となりました政時和美と申します。宜しくお願い致します。今まで成人看護学では、主に急性期看護を指導する傍ら、専門看護師（がん）の立ち上げや育成・福岡県内で働く各病院施設の認定看護師（主に糖尿病）のワークショップなど卒後教育にも携わらせて頂き



ました。これからは、松本という山と自然と学問で有名な場所で、先生方のご指導を仰ぎながら教育の発展に貢献できるよう頑張りたいと思います。

自己紹介

近藤 里栄

(看護学専攻 小児・母性看護学講座)

今年度より、看護学専攻、小児・母性看護学講座の助手に着任致しました。

出身は新潟県長岡市です。信州大学医療技術短大の入学を機に松本へ来ました。そのため、松本での暮らしも随分と長くなりました。自然いっぱいの環境のなか、ドライブに出かけたり、冬はスキー、スノーボードを楽しんでいます。

医療技術短大の看護学科、助産専攻科で学び、卒業後は信大病院にて助産師として産科、NICUで臨床経験を重ねてきました。周産期の現場は、適切な判断と責任感を必要とされ、時には辛いこともありました。しかし、それ以上に日々多くの家族との出会いや病棟スタッフの方々のサポートのなか、励まされ、癒され、やりがいを持って楽しく働くことができました。

学生時代にお世話になった先生方、臨床でお世話になった先生方に囲まれ、適度な緊張感をもちながら、また、感性豊かな学生さん達に刺激を受けながら過ごしております。私自身も勉強中ではありますが、これまで感じてきた看護・助産の魅力が学生さん達に伝えていけるよう、努力していきます。どうぞよろしくお願い致します。



自己紹介

北條 佐智子

(看護学専攻 成人・老年看護学講座)

今年3月まで信州大学医学部附属病院で働いていました。4月より成人看護学講座にてお世話になっています。

出身は伊那市ですが、学生時代からこれまで県内・県外を転々として、現在は松本に暮らして3年目になります。松本は好きな



町の一つであり、県内では一番好きな地となりました。城下町の趣ある街並みはのんびり散歩するのにいいですし、着物で出かけてもじっくりくるそんなところが気に入っています。更に、冬はスキーやスノーボードに短時間で行け、温泉も近く本当にいい環境だと感じています。

これまで、病院での看護師・保健師、看護専門学校での専任教員、市町村の保健師をしてきました。これらの経験も活かしながらと思うのですが、看護教育は時代と共に変化しており、自分が受けてきた教育とは違ってきていることを実感し、まだまだ戸惑いの中で仕事をしている感じです。学生への関わり方も大変気を配らなければならないし、医療現場も日々進歩しているため、臨床からかけ離れないように常に学んでいかなければならないと思います。

大学に来てからこの数ヶ月、自分自身を振り返るよい機会となっていますが、これから皆様のご指導も頂きながら頑張っていきたいと思います。

自己紹介

成田 太一

(看護学専攻 広域看護学講座)

この度、広域看護学講座に着任いたしました。出身は新潟県新潟市で、本年の3月まで地元の新潟市で保健師として勤務していました。

市役所では保健センターでの地区担当を経て、保健所で精神保健関連の業務に従事してきました。その中で家族の大切さ、地域のつながりの重要性を肌感じてきました。コミュニティの力が小さくなっていると言われる中、保健師が困難な事例に直面することも多く、また行政職員としての責任を求められることも多いため、仕事の難しさを感じることもありましたが、一方で地域住民との際にはやりがいを感じることも多かったです。

これからは、今までの経験を理論と重ね合わせながら振り返るとともに、一人でも多くの学生に「地域は楽しい！」と感じてもらえるように頑張っていきたいと思います。

私はウィンタースポーツが好きということもあり、前から白馬村など県の北部へはよく訪れていましたが、



中信や南信にはあまり来たことがありませんでした。これからは松本以南の地域にも足を伸ばしてみたいと思っています。まだまだ市内にも不慣れな状況ですので、おすすめの店などいろいろと皆様から教えていただきたいと思っています。

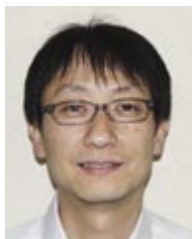
よろしくお願いいたします。

自己紹介と同窓会

務台 均

(作業療法学専攻 実践作業療法学講座)

本年度より作業療法学専攻実践作業療法学講座の助手として着任した務台 均(むたい ひとし)と申します。出身地は松本市の隣の安曇野市です。現在の保健学科の前身である信州大学医療技術短期大学部作業療学科を卒業して作業療法士になって12年目になります。大学に来るまでは、地域の中核病院や信州大学附属病院など3ヵ所の病院で脳卒中や整形疾患などの方を中心に、急性期から回復期の作業療法に携わってきました。これまでつちかってきた経験や知識を学生のみなさんとうまく伝えていければと考えております。



同窓会については、保健学科同窓会ができる前からある理学・作業療学科の卒業生で構成されている州嶺会という同窓会に入っています。年に1回勉強会&交流会が開かれており、今まで6回くらい出席していると思います。知らない先輩と話したり、久しぶりの友人に会ったりと出席すると面白いですよ。卒業生の方はたくさん参加してください。

それでは、今後ともよろしくお願いいたします。



自己紹介

福島 佐千恵

(作業療法学専攻 基礎作業学講座)

平成21年4月に基礎作業療法学講座に着任しました。長野県諏訪市の出身です。平成13年に信州大学医療技術短期大学部を卒業しました。卒業後、信州大学医学部附属病院リハビリテーション部で5年間働き、主に精神科の急性期の短期入院患者さんに対する早期作業療法を行ってきました。新卒で大学病院に就職し、精神科の作業療法士が私一人でしたので、「早く一人前にならなくては」とかなり背伸びをして働いていた5年間だったと思います。それから南箕輪村にある南信病院の精神科デイケアで3年間働き、主に回復期の外来患者さんの就労支援を行ってきました。南信病院は園芸療法も盛んで、それまでほとんど土をいじったことのなかった私も、トマト、ナス、トウモロコシ、ネギ、ジャガイモ、サツマイモ、落花生、枝豆、スイカ、…などなど沢山の野菜を育てました。花の名前も沢山覚えることができました。



南信病院で働いていた時期には信州大学医学系研究科の学生であり、信州大学とは10年のお付き合いで大変お世話になっています。少しでもご恩返しが出来たらと思います。よろしくお願いいたします。

自己紹介

西沢 公美

(理学療法学専攻 基礎理学療法学講座)

皆様こんにちは。西沢公美と申します。

ことしの4月から理学療法学専攻に着任しました。

主に小児系の理学療法分野を担当することになります。



とは言え、久々に自分の机を与えられたので、過去の仕事ぶりを必要以上に振り返ってしまい、「これの何が役立つんだろう…？」と早くも弱気モードです。さらに30代後半になった私が、生徒にまで「生徒」と勘違いされる始末。信大着任の件で私に声をかけて下さった先生方に申し訳ない気分さえなっています。

私は医短の卒業生で、その後長野赤十字病院に就職、数年前からは同じく長野市の児童デイサービスで働いていました。医療・福祉の両方を経験してきたことになりましたが、その間に私に残ったものと言えば“ありがたい人脈”に尽きます。

日赤時代に手探りで始めた小児分野でしたが、当初からずっと付き合いが続いている子ども関連機関の先生方、古巣の仕事仲間、他職種の友達、担当児のお母さん方…そのすべての方が事あるごとに私をちょうど良く支え、

どこかへ導いてくれました。

もちろんこれが特別な経験というワケではありません。私だけが知っている、人々との出来事や言葉、失敗談、それらの積み重ねが今の私を作っており、その私を学生が見る、というのも悪くないなと思うのです。

ともあれ、今年はかなり生活がかわりそうです。毎日通る長野―豊科間の高速で一回も捕まらず通勤することが当面の目標です。どうか長い目でみてやってください。

平成20年度 活動報告

●佐藤陽子先生 最終講義



平成21年3月末をもって、作業療法学専攻の佐藤陽子先生が退職されました。医療技術短期大学の開設から20年以上に渡り、特に理学療法学専攻(学科)、作業療法学専攻(学科)の小児領域の授業を中心に教えていただきました。

●星加良司氏 特別講演



保健学科同窓会・総会時に開催される特別講演で、東京大学先端科学技術研究センターの星加良司氏に、『障害者をめぐる「常識」の嘘』というテーマで講演をしていただきました。全盲の方に対する考え方や接し方について、考えさせられた講演内容でした。

●竹内松次郎賞



今年度より、各専攻の優秀生に対して「竹内松次郎賞」を授与することになりました。対象学生は看護学専攻2名、検査技術科学専攻1名、理学療法学専攻1名、作業療法学専攻1名です。卒業祝賀会で市川元基学科長より記念盾と賞状が授与されました。



総会記録

平成21年度信州大学医学部保健学科同窓会総会議事録

日 時 平成21年6月27日(土) 15時15分～16時15分

場 所 旭総合研究棟9階講義室

出席者 市川元基同窓会名誉会長・川上由行同窓会長・山崎一・奥村伸生・山崎章恵・柳澤節子・三好圭・小林利江・伊藤喜世子・寺澤文子・小穴こず枝・亀子文子・村山忠勇・百瀬公人・西澤公美・玉井真理子・近藤里栄・白濱零・永田美香・町田智之・驚野恵一・西澤千春・百瀬悦子・平井佑希・高橋さや・喜古里美・亀谷博美・川口涼太・北川直也・設楽咲世香

1. 保健学科同窓会長挨拶
2. 保健学科同窓会名誉会長(学科長)挨拶
3. 議長選出
三好 圭氏を選出した。
4. 平成20年度事業報告及び決算報告について
資料1-1により山崎章恵幹事から事業報告があり、続いて資料1-2により柳澤節子幹事から決算報告があり承認された。
5. 平成20年度委任経理金及び記念事業等特別積立繰越金について
資料2により柳澤節子幹事から報告があり承認された。
6. 平成20年度会計監査報告
資料3より小林利江監事から平成21年6月11日(木)に青木 朗監事と通帳・帳簿・証拠書類を確認したところ適正に処理されていた旨の報告があった。
7. 平成21年度会費納入状況報告書
資料4により柳澤節子幹事から説明があり、会費納入に対して更なる協力要請があった。
8. 平成21年度事業計画及び予算(案)について
資料5-1により山崎章恵幹事から事業計画の説明があり、続いて資料5-2により柳澤節子幹事から予算(案)の説明があり承認された。
9. 信州大学医学部保健学科同窓会会則新旧改定(案)について
資料6により山崎章恵幹事から説明があり、承認された。
10. 信州大学医学部保健学科同窓会会計細則新旧改定(案)について
資料7により山崎章恵幹事から説明があり、承認された。
11. 役員改選
資料8により山崎章恵幹事から説明があり、承認された。
12. その他
なし。

平成20年度事業報告

1. 在校生の教育支援及び保健学科の運営補助

- 1) 学生図書購入
- 2) 学術国際交流推進(オーストラリア, カーティン工科大学短期留学プログラム)
- 3) 特別講演の開催
平成20年度保健学科同窓会総会特別講演
『障害者をめぐる「常識」の嘘』 星加良司氏
(東京大学先端科学技術研究センター)
平成20年6月28日(土) 13:00~15:00
旭総合研究棟 9階講義室
- 4) 大学院運営補助
- 5) 実習指導者連絡協議会開催補助
 - ・検査技術科学専攻
 - ・理学・作業療法学専攻
 - ・看護学専攻
- 6) 卒業祝賀会補助
- 7) 卒業記念品の贈呈
 - ・卒業式集合写真
- 8) 竹内松次郎賞表彰支援(優秀生表彰用記念楯)
- 9) 就職活動支援
- 10) 入試広報活動補助
 - ・キャンパス見学会補助
 - ・各特別選抜試験および一般選抜試験補助
- 11) 学生課外活動支援
 - ・新入生合宿研修補助
 - ・松本ぼんぼん参加補助
 - ・検査技術科学専攻スポーツ大会
- 12) 保健学科キャンパス環境整備
 - ・看護学専攻看護技術演習用モデル等の購入
- 13) 記念事業開催準備(積み立て)

2. 保健学科同窓会分科会支援

- 1) 看護学専攻:アルプス会・桐の木会
- 2) 検査技術科学専攻:臨嶺会
- 3) 理学療法学専攻・作業療法学専攻:州嶺会

3. 保健学科同窓会の運営について

- 1) 同窓会ホームページの運営
- 2) 同窓会だより第6号の発行
- 3) 同窓会総会および役員会の開催
 - ①平成20年度総会の開催
平成20年6月28日(土) 15:15~16:15
旭総合研究棟 9階講義室
 - ②役員会の開催
平成21年6月18日(木) 18:30~20:30
保健学科第一会議室
 - ③幹事会の開催

平成20年12月25日(木) 18:00~20:00

- ・博士課程設置に伴う会則改正について
- ・卒業式における成績優秀者の表彰について
- ・学習環境整備費について

平成21年5月27日(水) 18:00~20:00

- ・平成21年度入学生会の会費納入状況について
- ・平成21年度事業計画, 予算案作成について
- ・博士課程設置記念事業について

4) 同窓会事務局の運営

5) 信州大学同窓会連合会との連携

- ・平成20年6月19日(木)

信州大学同窓会連合会幹事会

第6回信州大学同窓会連合会役員会に向けて
議題などの検討

- ・平成20年7月19日(土)

第6回信州大学同窓会連合会役員会

1. 信州大学同窓会連合会表彰要項(案)について(表彰対象と選考方法)
2. 信州大学同窓会連合会規約見直し(支部設置について)
3. 信州大学創立60周年記念事業(連合会から200万円援助)
4. 東京同窓会を「連合会の東京支部」として組織化することについて

- ・平成21年1月22日(木)

信州大学同窓会連合会幹事会

第7回信州大学同窓会連合会役員会に向けて
議題などの検討

- ・平成21年1月31日(土)

第7回信州大学同窓会連合会役員会

1. 平成20年度表彰者(団体)について(信州大学氷上部スピードスケート部門ほか)
2. 信州大学創立60周年記念事業(平成21年6月6日(土)盛大に挙行される)
(連合会の提案により事業計画の変更・パンフレットの配布)
3. 信州大学東京同窓会について(現状報告)

6) 信州医学振興会支援



平成20年度保健学科同窓会総会

平成20年度医学部保健学科同窓会決算書

収 入

平成21年5月27日現在
(単位:円)

事 項	20年度予算額	20年度決算額	増減(一は減)
前年度繰越金	809,739	809,739	0
会 費(在校生)	1,015,000	1,015,000	0
会 費(新入生・3年次編入・大学院含む)	7,926,000	7,926,000	0
利 息	0	9,040	-9,040
合 計	9,750,739	9,759,779	-9,040

支 出

事 項	20年度予算額	20年度決算額	増減(一は減)	
1. 在校生の教育支援及び保健学科の運営費補助	・図書購入費	500,000	500,000	0
	・学術国際交流推進経費	700,000	700,000	0
	・特別講演会経費	50,000	11,526	38,474
	・大学院立上げ活動経費	0	0	0
	・実習指導者連絡協議会経費	101,000	105,107	-4,107
	・卒業祝賀会経費	300,000	300,000	0
	・卒業生記念品代	170,000	151,200	18,800
	・就職支援経費	50,000	0	50,000
	・入試広報活動経費	200,000	175,538	24,462
	・学生課外活動経費	100,000	93,572	6,428
	・学習環境整備	1,200,000	1,316,700	-116,700
	・記念事業等特別積立金	800,000	800,000	0
	小 計	4,171,000	4,153,643	17,357
2. 保健学科同窓会分科会(各専攻単位)運営費補助	・看護学関係同窓会	1,500,000	1,500,000	0
	・検査技術科学関係同窓会	780,000	780,000	0
	・理学療法学関係同窓会	380,000	380,000	0
	・作業療法学関係同窓会	320,000	320,000	0
	・理学・作業療法学関係同窓会	20,000	20,000	0
	・上記振込み手数料	1,165	1,380	-215
小 計	3,001,165	3,001,380	-215	
3. 保健学科同窓会運営費	・同窓会ホームページ及び会報編集会議等	20,000	0	20,000
	・同窓会だより	400,000	378,210	21,790
	・同窓会総会等経費	300,000	131,060	168,940
	・事務処理等人件費	600,000	712,000	-112,000
	・通信費	30,000	34,880	-4,880
	・消耗品	30,000	68,822	38,822
	・電気・電話使用料	30,000	21,843	8,157
	・信州大学同窓会連合会会費	70,315	70,315	0
	・信州医学振興会会費	50,000	50,000	0
	小 計	1,530,315	1,467,130	63,185
4. 予備費	1,048,259	156,600	891,659	
合 計	9,750,739	8,778,753	971,986	

収 入	9,759,779
支 出	8,778,753
差引残額(翌年度繰越額)	981,026

平成20年度委任経理金・記念事業等特別積立金繰越額

(単位:円)

1. 委任経理金						2. 記念事業等特別積立金				
事 項	19年度繰越額	20年度内訳				事 項	19年度繰越額	20年度内訳		
		振込金額	事務手数料8%除いた金額	支出金額	20年度繰越額			収 入	支 出	20年度繰越額
図 書 購 入 費	160,118	500,000	460,000	500,000	120,118	記念事業等特別積立金	2,605,302	800,000	0	3,405,302
学術国際交流推進経費	2,871,617	450,000	414,000	932,341	2,353,276	利 息(8月)		2,212		2,212
大学院立上げ活動経費	770,770	0	0	0	770,770	利 息(2月)		1,865		1,865
特別講演会経費	700,705	0	0	103,380	597,325	計	2,605,302	804,077	0	3,409,379

平成21年度事業計画(案)

1. 在校生の教育支援及び保健学科の運営補助
 - 1) 学生図書購入
 - 2) 学術国際交流推進
 - 3) 特別講演の開催
 - 平成21年度保健学科同窓会総会特別講演
 - 『多様性の宇宙へ—— 障害者問題から環境問題を読み解く——』
 - 安積 遊歩氏 CILくにたち援助為センター代表
 - 平成21年6月27日(土) 13:00~15:00 旭総合研究棟9階講義室
 - 他2回
 - 4) 実習指導者連絡協議会開催補助
 - 5) 卒業祝賀会補助
 - 6) 卒業記念品の贈呈
 - ・卒業式集合写真
 - ・優秀学生表彰用記念楯
 - 7) 竹内松次郎賞表彰支援(優秀生表彰用記念楯)
 - 8) 入試広報活動補助
 - ・キャンパス見学会補助
 - ・各特別選抜試験および一般選抜試験補助
 - 9) 学生課外活動支援
 - (1件3万円以内, 申請・報告書が必要。飲食, 個人の交通費支援はなし)
 - ・新入生合宿研修補助
 - ・松本ぼんぼん参加補助など
 - 10) 学習環境整備費
 - ・大学院学生支援
 - ・学部生支援
 - 11) 記念事業開催準備(積み立て)
 - ・博士課程設置記念事業
2. 保健学科同窓会分科会支援
 - 1) 看護学専攻:アルプス会・桐の木会
 - 2) 検査技術科学専攻:臨嶺会
 - 3) 理学療法学専攻・作業療法学専攻:州嶺会
3. 保健学科同窓会の運営について
 - 1) 同窓会ホームページの運営
 - 2) 同窓会だより第7号の発行
 - 3) 同窓会総会および役員会の開催
 - ①平成21年度総会の開催
 - 平成21年6月27日(土) 15:15~16:15
 - 旭総合研究棟9階講義室
 - ②役員会の開催
 - 年1回5~6月
 - ③幹事会の開催
 - 4) 同窓会事務局の運営
 - 5) 信州大学同窓会連合会との連携
 - 6) 信州医学振興会支援

平成21年度医学部保健学科同窓会予算（案）

収入

平成21年5月27日現在
(単位:円)

事 項	21年度予算額	20年度決算額	増減(－は減)
前年度繰越	981,026	809,739	171,287
会 費(在校生)	910,000	1,015,000	-105,000
会 費(新入生・3年次編入生・大学院含む)	7,935,000	7,926,000	9,000
利 息	0	9,040	-9,040
合 計	9,826,026	9,759,779	66,247

支出

事 項	21年度予算額	20年度決算額	増減(－は減)
1. 在校生の教育支援及び保健学科の運営費補助			
・図書購入費	500,000	500,000	0
・学術国際交流推進経費	700,000	700,000	0
・特別講演会経費	50,000	11,526	38,474
・実習指導者連絡協議会経費	100,000	105,107	-5,107
・卒業祝賀会経費	300,000	300,000	0
・卒業生記念品代	170,000	151,200	18,800
・優秀生表彰記念楯	0	0	0
・入試広報活動経費	200,000	175,538	24,462
・学生課外活動経費	150,000	93,572	56,428
・学習環境整備	1,400,000	1,316,700	83,300
・記念事業等特別積立金	800,000	800,000	0
小 計	4,370,000	4,153,643	216,357
2. 保健学科同窓会分科会(各専攻単位)運営費補助			
・看護学関係同窓会	1,360,000	1,500,000	-140,000
・検査技術科学関係同窓会	860,000	780,000	80,000
・理学療法学関係同窓会	320,000	380,000	-60,000
・作業療法学関係同窓会	420,000	320,000	100,000
・理学・作業療法学関係同窓会	100,000	20,000	80,000
・上記振込み手数料	1,380	1,380	0
小 計	3,061,380	3,001,380	60,000
3. 保健学科同窓会運営費			
・同窓会ホームページ及び会報編集会議等	0	0	0
・同窓会だより	420,000	378,210	41,790
・同窓会総会等経費	300,000	131,060	168,940
・事務処理等的人件費	640,000	712,000	-72,000
・通信費	30,000	34,880	-4,880
・消耗品	30,000	68,822	-38,822
・電気・電話使用料	30,000	21,843	8,157
・信州大学同窓会連合会会費	70,315	70,315	0
・信州医学振興会会費	50,000	50,000	0
小 計	1,570,315	1,467,130	103,185
4. 予備費	824,331	156,600	667,731
合 計	9,826,026	8,778,753	1,047,273

同窓会役員

名誉会長：市川 元基（医学部保健学科）	理事：検査技術科学専攻4名	理事：大学院(前期)1名
会長：川上 由行（医学部保健学科）	富木 大貴（検査技術科学専攻学生）	西沢 公美（博士前期課程院生）
副会長：伊藤喜世子（医学部附属病院）	赤羽 貴行（安曇野赤十字病院）	大学院(後期)1名
理事：看護学専攻8名	川崎 健治（医学部附属病院）	福島佐千恵（博士後期課程院生）
川口 涼太（看護学専攻学生）	小穴こず枝（医学部保健学科）	幹事：奥村 伸生（医学部保健学科）
白濱 零（看護学専攻学生）	理学療法学専攻2名	下里 誠二（医学部保健学科）
松本あつ子（医学部附属病院）	岩崎健太郎（理学療法学専攻学生）	柳澤 節子（医学部保健学科）
三井 貞代（医学部附属病院）	杉田 勇（諏訪中央病院）	三好 圭（医学部保健学科）
百瀬 悦子（医学部附属病院）	作業療法学専攻2名	監事：青木 朗（医学部保健学科）
細田かず子（医学部附属病院）	赤羽 大輝（作業療法学専攻学生）	寺澤 文子（医学部保健学科）
亀谷 博美（医学部附属病院）	井戸 芳和（医学部附属病院）	事務：清水 敏勝
三輪百合子（長野県立須坂病院）		

信州大学医学部保健学科同窓会会則

信州大学医学部保健学科同窓会会則

第1章 総則

- 第1条 本会は、信州大学医学部保健学科同窓会(以下「本会」という。)と称する。
- 第2条 本会は、事務局を松本市旭3丁目1番1号 信州大学医学部保健学科内に置く。
- 第3条 本会は、会員相互の親睦を図るとともに、母校との連携を保ち、その発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行なう。
- 一 会員の親睦及び研修に必要な事項
 - 二 母校の発展に関する事項
 - 三 その他必要と認められる事項
- 第5条 本会は、必要に応じて各専攻等を単位とする分科会を置くことができる。
- 2 分科会の設置及び運営に関する事項は、理事会の承認を経て各分科会が定める。

第2章 会員

- 第6条 本会の会員は次のとおりとする。
- 一 正会員
 - イ 信州大学医学部附属助産婦学校、信州大学医学部附属衛生検査技師学校、信州大学医学部附属臨床検査技師学校の卒業生
 - ロ 信州大学医療技術短期大学の卒業生
 - ハ 信州大学医学部保健学科(以下「本学科」という。)の在学生及び卒業生
 - ニ 信州大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程及び後期課程(以下「本大学院」という)の在学生及び修了生
 - 二 特別会員
 - イ 本学科教員
 - ロ 本学科元教員
 - ハ 前項以外の者で理事会の承認を得た者

- 第7条 会員が死亡または会員たる資格を喪失したときは、退会したものとみなす。
- 第8条 会員が、本会の名誉を傷つけ、または本会の趣旨に反する行為をしたときは、総会において出席会員の4分の3以上の議決により、これを除名することができる。
- 第9条 正会員は、細則に定める会費を入学時に納入するものとする。また、3年次編入生については編入時に4万円納入するものとする。ただし、退会または除名された会員が既に納入した会費その他の拠出金は返還しないものとする。

第3章 役員等

- 第10条 本会に次の役員を置く。
- 一 会長 1名
 - 二 副会長 1名
 - 三 理事 18名(看護8名;検査4名;理学2名;作業2名;大学院生博士前期課程1名、後期課程1名)
 - 四 幹事 若干名
 - 五 監事 2名
- 第11条 役員は、次の職務を行なう。
- 一 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
 - 二 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
 - 三 理事は、会員の代表として本会の運営に当たる。
 - 四 幹事は、本会の実務に当たる。
 - 五 監事は、本会の会計を監査し、総会に報告する。
- 第12条 役員は、次により選出又は委嘱する。
- 一 会長は、総会において正会員の中から選出する。
 - 二 副会長は、会長が正会員の中から推薦し委嘱する。
 - 三 理事は、正会員の中から各専攻毎に選出し委嘱する。
 - 四 幹事は、会長が委嘱する。
 - 五 監事は、総会において正会員の中から選出する。

- 第13条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 2 補欠による役員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 3 役員は、任期が満了しても後任者が就任するまではその職務を行なうものとする。

第4章 名誉会長及び顧問

- 第14条 本会に名誉会長を置き、本学科の学科長を推戴する。
- 第15条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会の議を経て会長が委嘱する。
- 2 顧問は、重要事項について会長の相談に応ずる。

第5章 会議

- 第16条 総会は、原則として毎年1回開催し、次の事項を審議決定する。
- 一 事業及び決算報告
 - 二 事業計画及び予算
 - 三 会則の制定及び改廃
 - 四 役員の選出
 - 五 顧問の推挙
 - 六 その他の必要事項
- 2 会長は、総会を召集し、理事会の議を経て前項に定める事項を提案する。
- 第17条 会長は必要と認めたととき、臨時総会を開催することができる。
- 第18条 総会の議長は、出席会員の中から選出する。
- 第19条 総会は、日時、場所、付議すべき事項等を示して召集する。

- 第20条 総会に出席できない会員は、あらかじめ文書をもって意見を表示することができる。
- 第21条 総会の議事は出席会員の過半数で決し、可否同数のときは議長がこれを決する。
- 第22条 総会は、議事録を作成し、これを保存する。
- 第23条 理事会は、会長、副会長、理事及び幹事によって組織する。
- 第24条 理事会は、会長が必要と認めたととき、又は理事の5分の2以上の要求があったときに開催する。
- 第25条 理事会は、会長が召集し、議長となる。
- 第26条 理事会の議事は、出席者の過半数で決する。
- 第27条 理事会は必要に応じて委員会を置くことができる。

第6章 会計

- 第28条 本会の経理は、会費及び寄付金その他の収入をもって充てる。
- 第29条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり翌年3月31日に終わる。

附 則

- この会則は、平成15年4月1日から施行する。
- この会則は、平成16年4月1日から施行する。
- この会則は、平成19年4月1日から施行する。
- この会則は、平成21年4月1日から施行する。

信州大学医学部保健学科同窓会会計細則

1. 同窓会費は6万円とし、本学本学科入学時に一括納入することを原則とする。また、3年次編入生及び修士大学院生については、編入時もしくは大学院入学時に4万円を納入するものとする。ただし、本人からの申し出があった場合は、同窓会理事会が分割払いを認めることができる。
2. 本学科同窓会費6万円の使用内訳は、次のとおりとする。ただし、この枠を越えて使用する必要が生じたときは、同窓会理事会の承認を必要とする。
 - (1) 在校生の教育支援及び医学部保健学科の運営に関すること。 3万円
 - (2) 保健学科同窓会分科会(各専攻単位)の運営に関すること。 2万円
 - (3) 医学部保健学科同窓会としての運営に関すること。 1万円

また、3年次編入生、博士前期課程及び博士後期課程の大学院生の同窓会費4万円の使用内訳は、次のとおりとする。ただし、この枠を越えて使用する必要が生じたときは、同窓会理事会の承認を必要とする。

 - (1) 在校生の教育支援及び医学部保健学科の運営に関すること。 1万5千円
 - (2) 保健学科同窓会分科会(各専攻単位)の運営に関すること。 2万円
 - (3) 医学部保健学科同窓会としての運営に関すること。 5千円

保健学科同窓会会員が博士前期課程および博士後期課程に入学した場合は、(1)在学生の教育支援及び医学部保健学科の運営に関して1万5千円を納入すること。
3. 金融機関への振込手数料は、会員の負担とする。
4. 幹事代表者名で金融機関に同窓会の口座を設け、会計担当幹事が通帳・印鑑を管理する。
5. 同窓会費の徴収は、入学時に行ない、徴収後は速やかに同窓会費支払者リストを作成する。
6. 会計担当幹事は、会計年度終了後に速やかに決算報告書を作成し、監査を受ける。
7. 本細則の改正は、同窓会総会で行なう。

附 則

- この細則は、平成15年4月1日から施行する。
- この細則は、平成16年4月1日から施行する。
- この細則は、平成19年4月1日から施行する。
- この会則は、平成21年4月1日から施行する。

同窓会のご紹介

アルプス会の紹介

伊藤喜世子

看護学専攻同窓会（アルプス会）は、保健学科同窓会最大の2400名余の会員数を誇ります。会の設立は15年前で、その活動は「会員の親睦および研修に必要な事項」と「母校の発展に関する事項」に分けられます。具体的な活動は会報の発行と年1回の総会と講演会が中心で、比較的地味でありました。講演会では、母校や近隣の大学の先生方や、時には「生協の白石さん」やエッセイストの山村レイコさんをお招きして来ました。しかし、参加者は常時30から40名前後でした。

そんなアルプス会も今年は15周年を迎え、記念事業として母校にフィジカルアセスメントモデル人形physiko1体を贈呈することができました。リアルなシュミレーション学習ができるものです。また、このモデル人形と懐かしの母校、ならびに信大病院の新外来棟を見学する会も開催できました。久々にいつもより多くの同窓生の参加を得て、大変うれしく思いました。

仕事を失う方が大勢いるこの時代に、看護の世界は相変わらずの人手不足が続いています。その中で、看護師が働き続けやすい環境が徐々に作られてきています。最近では、看護の仕事から離れていた方への復帰支援事業も行われるようになりました。そして、本学の保健学科も信大病院と連携し、復帰支援事業の指導者養成を行うようになりました。

今後もアルプス会では、このような話題も提供し、在校生だけでなく、卒業生にも少しでも貢献していきたいと考えています。

検査技術科学専攻同窓会「臨嶺会」の紹介

臨嶺会会長 奥村 伸生

臨嶺会は信州大学旭町キャンパスで衛生検査技師及び臨床検査技師を目指し勉学に励んだ、信州大学医学部附属衛生検査技師学校（6回）、臨床検査技師学校（2回）、信州大学医療技術短期大学部（29回）、信州大学医学部保健学科（3回）の卒業生、信州大学大学院医学系研究科保健学専攻修了生（1回）と信州大学医学部保健学科在学生と信州大学大学院医学系研究科保健学専攻在学生によって構成されている同窓会です。2009年10月現在、既卒会員約1400名、保健学科在校生会員約160名と特別会員（教員など）17名を合わせて総会員数が約1600名近くになる大所帯となっております。

ご推察のように、「臨嶺会」の「臨」は臨床検査技師の「臨」、「臨嶺会」の「嶺」は大学の西に天に向かって凜とそびえる北アルプス（飛騨山脈）の頂を表す「嶺」であります。昭和47年（1972年）に同窓会発足後、長い間愛称がありませんでした。何か良い愛称がないかと、先輩方が数年間議論に議論を重ね平成8年（1996年）にやっと決まった名称が、「臨嶺会」であります。

現在の活動は、年1回の会報発行、ホームページ開設、毎年11月に学部3年生を対象とした「就職・進学セミナー」の開催と支援、卒業20年後と40年後の卒業生にホームカミングデー（同級会）開催の助成と支援、4年に1回の同窓会総会開催を実施しております。決して活発に活動をしているわけではありませんが、本年3月末には信州大学医学部附属衛生検査技師学校の第1回卒業生が60歳の定年という節目を迎えられました。今後はそのような方々に「臨嶺会」の強力な牽引役になっていただき、この同窓会を是非盛り上げて引っ張って行っていただきたいと思っております。

私たちの臨床検査技師教育が念願の4年制となり、

さらに大学院修士課程・博士課程が設置された現在、同窓会長として期待していることは次の2点です。

1) 「臨嶺会」会員の中から将来母校に戻って後輩の教育を担当する方が大勢出てきていただきたい、
2) 出世して財を成した方々は、是非「臨嶺会」あるいは保健学科同窓会に寄付をしていただき、それにより母校の教育・研究の充実に寄与していただきたい。

最後に、同窓会員の皆様・ご家族の皆様の多幸を祈念いたします。お時間がありましたら、ご家族で母校をお訪ね下さい。

州嶺会の紹介

州嶺会会長 青木 朗

「州嶺会」は、信州大学医療技術短期大学の理学療法学科、作業療法学科の同窓会として平成元年に発足しました。平成15年の保健学科への改組をうけて、平成19年には保健学科理学療法学専攻、作業療法学専攻の卒業生が加わりました。さらに、昨年からは大学院生（理学作業療法学分野）の修了生も会員とするように会則を変更しました。会員数は現在748名となり、母校の発展、会員の自己研鑽、親睦などを目的として活動しています。

「州嶺会」では、年1回、11月下旬から12月上旬に

土日の2日間で研修会・懇親会・総会を長野県内で開催しています。今年度は北信地区にて12月12日、13日の開催を予定しています。これまで研修会では、本学に在籍していた、または在籍しておられる先生や県内のベテラン理学療法士、作業療法士に講演をお願いしておりましたが、近年はキャリアを重ねた会員の講演も企画できるようになりました。また、この講演に加えて例年、会員の演題発表もおこなっています。講演、会員発表ともに理学療法・作業療法それぞれの垣根を越えたディスカッションが行われています。日程1日目の夜に開催される懇親会は、懐かしい同窓生との思い出話や、近況報告、そして年代を超えた先輩後輩のコミュニケーションの場として例年大変な盛り上がりです。

その他の主な活動としては、会誌を年1回のペースで発行しています。この会誌では、州嶺会研修会や懇親会、その他の州嶺会の1年間の活動をまとめ、全会員に送付しています。昨年、「州嶺会」は発足20周年を迎えることができました。二十歳そこそこの若い会ではありますが、皆さまのご助力でここまで順調に活動してることができ、会員一同大変喜んでます。皆さまには今後も引き続きのご指導をお願いいたします。

編・集・後・記

医療技術短期大学部から保健学科に改組してから、「保健学科同窓会」ができて、数年になります。皆さん、他専攻（他学科）の同窓会についてご存じですか？意外と、同じ校舎で学んだにも関わらず、他の同窓会の活動状況を知らない方が多いと思います。かく言う私も、保健学科同窓会の仕事をするまでは、他専攻に同窓会があることすら知りませんでした。そこで、今回は各同窓会の活動状況などを掲載しましたので、是非、読んでみてください。

また、前号の編集後記で書きました「自転車通勤」の続報です。今年の長野県は梅雨が長くとも短い夏（全国的？）でした。そんな中、私なりに頑張って自転車通勤をしました。本来の目的である減量については、思ったほど

効果が無く、ただ腕と顔が日焼けで黒くなっただけ・・・のような気がしています。ただ、脚力は以前よりも、少しはアップしたようには思いますが、時々、階段で9階まで上ると、筋痛と筋疲労で膝がガクガクします。

これから運動には最適の季節になります。もうしばらく自転車通勤を続けたいと思っています。

保健学科 M.K.

